



株主の皆様へ 第64期 報告書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

株式会社 不動テトラ

証券コード：1813

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、平成22年3月31日をもって、第64期を終了いたしましたので、ここにその概況をお知らせいたします。

平成22年6月



代表取締役社長
竹原 有二

当連結会計年度におけるわが国経済は、景気回復の兆しがみられるようになりましたが、未だ完全な立ち直りを果たせないままで推移いたしました。

建設業界におきましては、このような経済状況を背景に民間設備投資の需要が低迷するとともに、公共事業投資が政権交代による政策変更によってこれまでの継続的な減少に拍車を駆け、下期以降の大幅な減少となりました。

こうした中、当社グループは、地盤改良とブロックの独自技術並びに陸上および海洋土木の施工経験を礎に市場規模の縮小に対処する諸施策を実施して受注の確保および収益の改善に取り組んでまいりました。しかしながら、受注高60,190百万円(前期比17.3%減)、売上高67,405百万円(前期比6.3%減)、当連結会計年度の繰越受注高は42,423百万円となりました。また、損益につきましては、営業利益556百万円(前年は5,420百万円の損失)、経常利益676百万円(前年は5,346百万円の損失)、当期純利益286百万円(前年は6,394百万円の損失)にとどまりました。

このような状況でありましたので、当連結会計年度の配当につきましては、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

当社グループといたしましては、建設業界における厳しい経営環境が今後も続くものと認識し、当連結会計年度におきまして現行「中期事業計画(平成20~22年度)」の見直しに取り組み、これを1年前倒して終了し、平成22~23年度を実行期間とする「新中期経営計画」を策定いたしました。当社グループは、本計画を主力事業である土木事業・地盤改良事業・ブロック事業の3事業による収益を将来に向けて確固たるものとするための構造改革期間と位置づけ、「急激に縮小する市場環境に適応するため、利益率重視の経営への転換」という基本方針に基づく新たな経営戦略を新たな経営執行体制で実行してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■ 新中期経営計画の概要

平成22年度を最終年度として「中期事業計画」に取り組んでまいりましたが、市場環境が激変する中、今後の企業間の熾烈な競争を見据え、新たに策定した平成22～23年度を実行期間とした「新中期経営計画」の概要を紹介いたします。

1. 基本方針

「急激に縮小する市場環境に適應するため、
利益率重視の経営へ転換する」

2. 業績目標(平成23年度)

2ヵ年計画の最終年度(平成23年度)における目標

- ①連結経常利益率3%
- ②全事業部門の黒字化
- ③連結自己資本比率35%

3. 経営戦略

- 選別受注による土木事業の抜本的な採算性の改善
- 利益率のより高い事業である地盤改良事業・ブロック事業への経営資源の再配分
- 黒字安定化と自己資本の充実による株主、金融機関からの信頼の確保

本計画では、この2ヵ年を当社の主力事業である土木事業・地盤改良事業・ブロック事業の3事業による収益基盤を確固たるものとするための構造改革期間と位置づけ、新たな経営戦略に基づく諸施策の着実な実行によって業績目標の達成に取り組んでまいります。

	第64期実績 (H22/3)	第65期計画 (H23/3)	第66期計画 (H24/3)
売上高	674億円	636億円	611億円
経常利益 (経常利益率)	7億円 (1%)	11億円 (2%)	20億円 (3%)
当期純利益	3億円	6億円	18億円
純資産	128億円	131億円	149億円
自己資本比率	28%	30%	35%
有利子負債	96億円	106億円	85億円
D/Eレシオ	0.7倍	0.8倍	0.6倍

■ 主要施策

■ 土木事業

- ▶新たな受注ガイドラインに基づいて低利益工事の徹底排除
～ 受注高重視から利益率重視へ転換
- ▶総合評価落札方式への対応強化
- ▶新日鐵グループからの受注拡大

■ 地盤改良事業

- ▶大口径・高品質の深層混合処理工法「CI-CMC工法」の全国展開
- ▶液状化対策における狭隘地や既設構造物直下への施工が可能な「SAVE-SP工法」の受注拡大

■ ブロック事業

- ▶経済性が高い「ドロスII」の大型消波ブロック市場での営業強化
- ▶経済性・環境性能が高い「ペルメックス」の被覆ブロック市場での受注拡大
- ▶新型消波ブロック「テトラネオ」の市場への本格投入

■ 全社

- ▶希望退職の募集による人身体制の縮小と組織の再編成
- ▶与信管理の強化と資産の流動化

トピックス

▶▶▶ H20葛川水門新設工事



(発注者)国土交通省 関東地方整備局 (施工場所)埼玉県

本工事は、荒川水系入間川・越辺川等緊急対策事業の一環として、高麗川(こまがわ)・越辺川(おっpegわ)・葛川(くすがわ)の3河川が合流する坂戸市新ヶ谷地区に水門と堤防を築造するものです。この地域は、古くから水害多発地帯であり、洪水時に高麗川・越辺川の水位上昇による葛川への逆流を防ぎ、周辺への浸水被害を軽減することを目的として葛川水門が建設されました。

本工事は、平成22年3月に竣工いたしました。



▶▶▶ ハリケーン・カトリーナ災害復旧工事をニューオリンズで施工中



米国陸軍工兵隊
関係者の視察風景



ニューオリンズ現地施工写真

当社の米国子会社Fudo Construction Incorporated(以下、FCI社)は、米国陸軍工兵隊発注の「ニューオリンズ市東部堤防嵩上げに伴う地盤改良工事」を昨秋下請受注し、現在施工中です。「ニューオリンズ市東部堤防嵩上げプロジェクト」は、2005年8月にハリケーン・カトリーナがニューオリンズ市を直撃し、大規模な水害で人的、物的被害が拡大したことへの対策として計画されたものです。地盤改良工法としては「DMM工法(深層混合処理工法)」が採用されておりますが、FCI社は不動産テラ独自の「CI-CMC工法(大口径、高品質深層混合処理工法)」で施工しております。FCI社は、本工法を契約先である「トレビアイコス・サウス(TREVIICOS South)社」へ提案し、同社からの高い評価を得て、今回の受注に至りました。

- ・工区延長 約8.4 km
- ・改良径φ1,600mm(2軸ラップ施工、断面積 3.91 m²)

▶▶▶ 新型消波ブロック「テトラネオ」を開発し、営業を開始



当社は本年1月に、テトラポッドの持つ水利機能に加え、環境負荷も低減できる新時代の消波ブロック「テトラネオ」を開発し営業を開始しました。

「テトラネオ」は形状変更で安定性を高めたほか、高い空隙率で大幅にコンクリート使用料を低減するとともに、突起や長い稜線をもった形状により、藻類の着生が促され、多様な海洋生物の生息環境づくりにも期待が出来ます。

3月には、国土交通省関東地方整備局発注の「鹿島港南防波堤付帯工事」で初採用となりました。今後は地方自治体への営業も強化していく方針です。

▶▶▶ 「SAVEコンポーザー」が国土交通省の平成22年度推奨技術に選定される



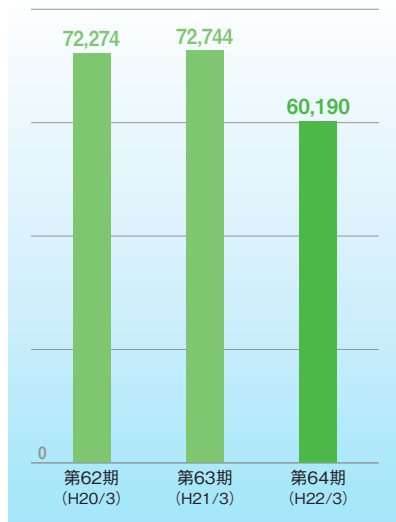
国土交通省が選定する「公共工事等における新技術活用システム（NETIS）」の平成22年度推奨技術に当社が開発した「SAVEコンポーザー」（静的締固め砂杭工法）が選ばれました。国土交通省では、有用な新技術の活用促進と技術のスパイラルアップを目的として、事後評価を中心とした「公共工事等における新技術活用システム」を運用しており、公共工事に関する技術の水準を一層高めるため、画期的な新技術を対象に「推奨技術」等新技術活用システム検討会議において選定し、新技術の普及啓発や活用促進を行っています。推奨技術の選定は制度発足後、2件目となります。「SAVEコンポーザー」は強制昇降装置を採用し、軟弱地盤中に砂杭を造成する工法で、無振動・低騒音の施工を実現し、市街地や既設構造物付近の液状化対策や支持力増加が可能です。

「推奨技術」に対しては、総合評価落札方式や工事成績評定で加点の対象となるなどのインセンティブがあります。

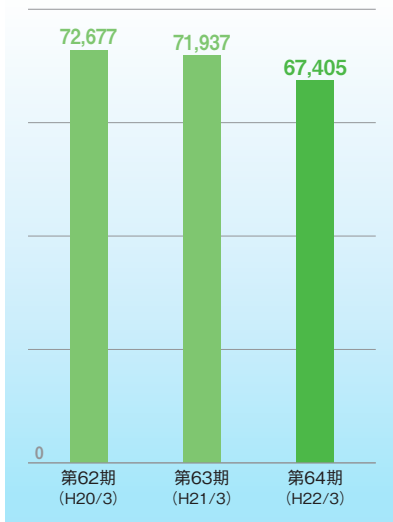
Consolidated Financial Data

連結財務データ (単位：百万円)

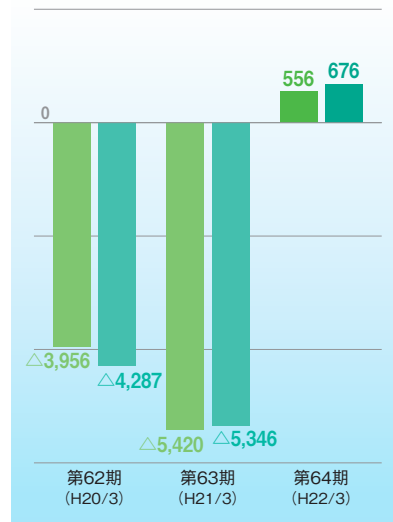
■ 受注高



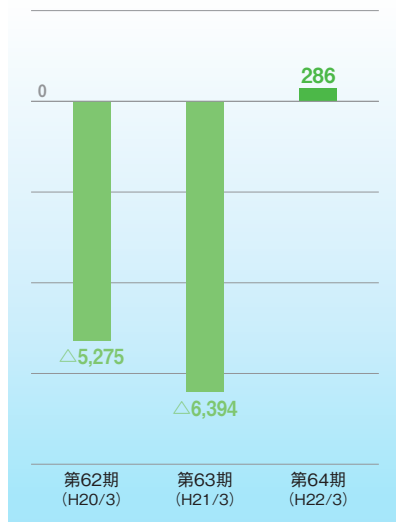
■ 売上高



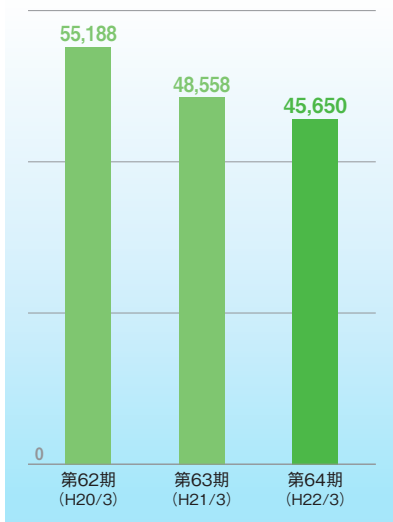
■ 営業利益 / ■ 経常利益



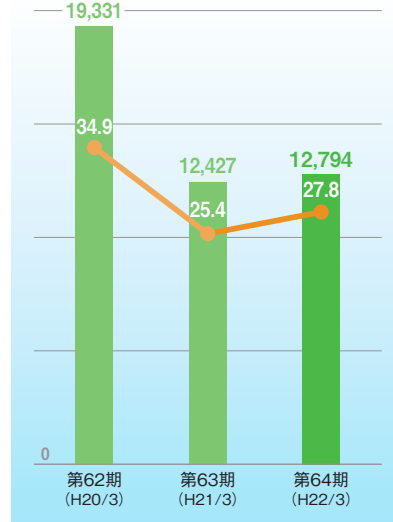
■ 当期純利益



■ 総資産



■ 純資産 / ● 自己資本比率 (単位：%)



※第62期および第63期については、経常利益および当期純利益において、のれんの償却費約6,400百万円を負担しており、総資産および純資産には未償却であるのれんの残額が含まれております。なお、のれんの償却は第63期に終了しております。



会社情報

会社概要 (平成22年3月31日現在)

商号	株式会社不動テトラ 英文表記：Fudo Tetra Corporation	
創立	昭和22年1月28日	
本店所在地	大阪市中央区淡路町二丁目2番14号	
資本金	50億円	
上場金融商品取引所	東京・大阪証券取引所 第1部	
従業員数	816名(連結988名)	
事業所	大阪本社(大阪市中央区淡路町二丁目2番14号) 東京本社(東京都中央区日本橋小網町7番2号) [本支店] 大阪本店(大阪市) 東京本店(東京都中央区) 北海道支店(札幌市) 東北支店(仙台市) 北関東支店(さいたま市) 千葉支店(千葉市) 横浜支店(横浜市) 北陸支店(新潟市) 中部支店(名古屋) 中国支店(広島市) 四国支店(高松市) 九州支店(福岡市) [営業所および事務所] 全国22箇所 総合技術研究所(茨城県土浦市)	
主な子会社	株式会社三柱 Fudo Construction Incorporated 株式会社ソイルテクニカ 東亜土木株式会社 福祉商事株式会社 高橋秋和建设株式会社	

ホームページのご案内

当社ホームページでは、「事業案内」「技術情報」「IR情報」等、当社に関するさまざまな情報を発信しております。是非当社ホームページをご活用ください。

<http://www.fudotetra.co.jp/>



取締役および監査役 (平成22年6月25日現在)

代表取締役社長	竹原 有二	建設本部長
取締役	小川 明	
取締役	森田 英彦	
取締役	松岡 道男	
取締役	高橋 昭夫	相談役
常勤監査役	吉川 文夫	
常勤監査役	伊藤 清	
監査役	淺田 永治	
監査役	植村 公彦	

※淺田永治および植村公彦の両氏は、社外監査役であります。

執行役員 (平成22年6月25日現在)

執行役員副社長	小川 明	管理本部長
専務執行役員	小林 正典	建設事業管掌
専務執行役員	藤田 郁夫	建設事業管掌
常務執行役員	森田 英彦	内部統制担当、安全環境本部長
常務執行役員	松岡 道男	ブロック環境事業本部長
常務執行役員	上月 哲	建設本部 土木事業部長
常務執行役員	佐々木耕二	東京本店長
常務執行役員	奥田 眞也	建設本部 地盤事業部長
執行役員	永井 豊	建設事業管掌
執行役員	高木 伸雄	建設事業管掌
執行役員	佐藤 弘和	九州支店長
執行役員	田中 享	管理本部 総務人事部長
執行役員	山下 晃	管理本部 企画財務部長
執行役員	中西 勉	建設本部 土木事業部副事業部長
執行役員	遠藤 茂	管理本部 事業戦略室長
執行役員	白川 英二	中部支店長
執行役員	木下 昇	東京本店副本店長 兼 第一営業部長
執行役員	松村 雅博	大阪本店長
執行役員	半澤 稔	ブロック環境事業本部 副本部長 兼 技術統轄部長
執行役員	山本 方人	ブロック環境事業本部 総合技術研究所長

株式情報 (平成22年3月31日現在)

株式の状況

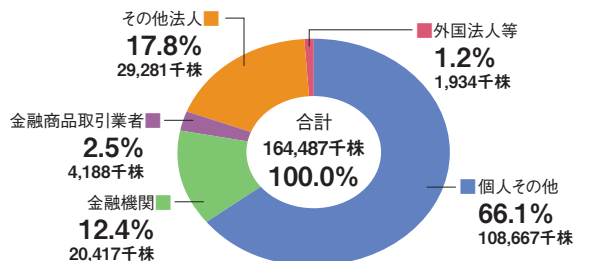
発行可能株式総数	272,559,104株
発行済株式の総数	164,486,813株 (自己株式17,538,415株を除く)
株主数	24,234名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
新日本製鐵株式会社	23,063	14.0
吉岡 英和	4,632	2.8
日鉄鉱業株式会社	3,409	2.1
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,261	2.0
那須 功	2,350	1.4
明治安田生命保険相互会社	1,898	1.2
日本証券金融株式会社	1,829	1.1
不動テトラ社員持株会	1,732	1.1
東京海上日動火災保険株式会社	1,612	1.0
吉岡 圭子	1,133	0.7

※1 自己株式17,538千株を除く上位10名の株主を記載しております。
 ※2 出資比率は自己株式を控除し計算しております。

所有者別株式分布状況



※自己株式17,538千株は含んでおりません。

株主メモ

事業年度
 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会
 6月中

定時株主総会基準日
 3月31日

期末配当基準日
 3月31日

中間配当基準日
 9月30日

単元株式数
 100株

株主名簿管理人および特別口座の管理機関
 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 ☎0120-232-711

公告方法
 電子公告の方法により当社ホームページに掲載して行います。
 (http://www.fudotetra.co.jp/)
 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。



大阪本社 〒541-0047 大阪市中央区淡路町二丁目2番14号
 TEL.06-6201-9203 FAX.06-6228-1616
 東京本社 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町7番2号
 TEL.03-5644-8500 FAX.03-5644-8510
<http://www.fudotetra.co.jp/>

